

通学区域 弾力的運用制度の 申請状況等について

隣接区域選択制：行健第二小学校、富田東小学校

特認校制：金透小学校、西田学園義務教育学校

令和4年2月21日～3月4日

郡山市教育委員会学校教育推進課

【目次】

1	令和4年度就学予定者の申請状況等	
(1)	周知（募集）期間・方法・・・・・・・・	1 ^{ページ}
(2)	申請集計・・・・・・・・	2
2	過大規模校の現状と今後・・・・・・・・	7
3	今後の主なスケジュール・・・・・・・・ (2022/2/18現在)	10
※	参照・・・・・・・・	12
※	弾力的運用制度周知チラシ	

1 令和4年度就学予定者の申請状況等

(1) 周知（募集）期間・方法

ア 周知（募集）期間（いずれも1か月間）

◆特認校小学校・義務教育学校前期課程

令和3年10月1日～29日

◆義務教育学校後期課程

令和4年1月11日～2月14日

イ 周知方法

- 広報こおりやま10月号及び1月号に記事掲載
- 市ウェブサイトへ掲載
- 学校経由で対象校全児童生徒保護者及び郡山市立学校へチラシ配付
- 市民課、市政情報センター、各行政センターへ制度周知のためチラシ配付
- 市内保育施設へチラシ掲示とチラシ配付を依頼
- 小学校入学通知書へチラシを同封
- 小学校就学時健康診断通知書へチラシを同封
- こおりやま子育てニコニコメール（こども政策課所管）の「3才から小学校入学前向け」に募集内容を配信
- 庁舎内案内モニター及び市民課窓口モニターに放映
- ◎隣接区域選択制指定校学区内保育施設へのチラシ掲示とチラシ配付依頼の訪問

（●例年実施 ◎今年度実施）



庁舎内案内モニターでの放映
(左：本庁舎正面 右：西庁舎正面)

(2) 申請集計

(令和4年2月1日現在)

●小学校・義務教育学校前期課程

令和4年度 弾力的運用制度 申請児童数 **31名**

(単位：名)

申請児童数内訳 (行健第二小・富田東小は 3ページ①+4ページ②、 以外は4ページ②)							
学年	1	2	3	4	5	6	合計
行健二小	4	0	0	0	0	0	4
富田東小	15	0	0	0	1	0	16
日和田小	1	0	0	0	0	0	1
行健小	5	0	0	0	0	0	5
明健小	0	0	0	0	0	0	0
安積第一小	1	0	0	0	0	0	1
永盛小	1	0	0	0	0	0	1
大島小	3	0	0	0	0	0	3
学年別希望者数	30	0	0	0	1	0	31

【表の見方例】
行健第二小に
入学予定の
新1年生4名が
行健第二小以外
の小学校へ
入学を希望

●申請児童数計（同日比較）

平成31年度	28名
令和2年度	37名
令和3年度	47名
令和4年度	31名

・申請者の31名中30名が新1年生

【① 隣接区域選択制】

(単位：名)

		就学希望校																							
学校名		日和田小						明健小						行徳小						喜久田小					
学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
受入人数		3	10	32	31	7	23	8	8	23	26	19	20	8	27	11	10	12	20	23	14	31	1	3	4
指定校	行健二小							4																	
	富田東小																			2					
転入数		0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
学校計		0						4						0						2					

		就学希望校																								
学校名		桃見台小						赤木小						富田小						大島小						
学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	合計
受入人数		12	10	10	27	16	22	10	5	5	5	10	5	21	5	14	21	11	18	0	22	29	16	0	9	
指定校	行健二小																									4
	富田東小	1												7						3						13
転入数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	17
学校計		1						0						7						3						

【表の見方例】

富田東小に入学予定の新1年生3名が、大島小への入学を希望

●申請者数の推移

行健第二小	平成31年度	1名
	令和2年度	1名
	令和3年度	6名
	令和4年度	4名
富田東小	平成31年度	10名
	令和2年度	16名
	令和3年度	21名
	令和4年度	13名

●行健第二小、富田東小学区から、申請があったのは全員新1年生

【② 特認校制】

(単位：名)

		就学希望校															
学校名		金透小							西田学園							合計	
学年		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計		
受入人数		20	2	0	12	5	5		10	5	5	5	5	5			
指定校	行健二小							0							0	0	
	富田東小	1				1		2	1						1	3	
	日和田小								1						1	1	
	行健小	2						2	3						3	5	
	明健小														0	0	
	安積第一小	1						1							0	1	
	永盛小								1						1	1	
	大島小	3						3							0	3	
転入数		7	0	0	0	1	0	8	6	0	0	0	0	0	6	14	
学校計		8							6							14	

【表の見方例】

永盛小に入学予定の新1年生1名が、西田学園への入学を希望

●申請者数の推移

金透小

平成31年度 15名

令和2年度 15名

令和3年度 13名

令和4年度 8名

西田学園前期課程

平成30年度 0名

平成31年度 2名

令和2年度 5名

令和3年度 7名

令和4年度 6名

●行健第二小からの申請者は0名

【増減表】

(単位：名)

区分	指定校	弾力的運用制度（隣接＋特認）による転出					隣接による 転入	増減
		隣接区域選択制	特認校制			合計		
			金透小	西田	計			
1	行健第二小	4	0	0	0	4		▲ 4
2	富田東小	13	2	1	3	16		▲ 16
3	日和田小			1	1	1	0	▲ 1
4	行健小		2	3	5	5		▲ 5
5	明健小			0	0	0	4	4
6	安積第一小		1	0	1	1		▲ 1
7	永盛小			1	1	1		▲ 1
8	喜久田小						2	2
9	桃見台小			0	0	0	1	1
10	富田小			0	0	0	7	7
11	大島小		3	0	3	3	3	0
		17	8	6	14	31	17	

【表の見方例】

大島小から特認校制で金透小へ3名転出、
大島小へ隣接区域選択制で3名転入、
結果大島小は増減なし

- 増減表右端の「増減」から、
行健第二小から他校へ就学となるのは **4名**
富田東小から他校へ就学となるのは **16名**
- 児童受け入れ数が、5名以上となるのは、富田小

●義務教育学校後期課程（西田学園後期課程）

令和4年度 弾力的運用制度 申請児童数 **0名**

【申請結果】

（単位：名）

学校名	西田学園後期課程		
学 年	7（中学校1）	8（中学校2）	9（中学校3）
募集人数	7	10	8
申請者数	0	0	0

●申請者数の推移

平成30年度	0名
平成31年度	0名
令和2年度	3名
令和3年度	0名
令和4年度	0名

●後期課程は小学校からの進学であり、西田学園以外からの申請は、転入（転校）となるためか、申請数がなかなか伸びないと考えられる。

引き続き小学校6年生、中学校1、2年生の保護者等に対し、特認校制度の周知が必要。

2 過大規模校の現状と今後

(1) 行健第二小学校

- 「R 3」は令和3年5月1日現在、「R 4」は令和4年1月31日現在の推計値
- R 5以降の1年生は令和3年5月1日現在の推計値
- R 4以降の特別支援は全て令和4年1月31日現在の推計値
- は、少人数指導（12ページ参照）
- 学級数は県基準による（1・2年生は30人学級、3年生以上は33人学級）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	全児童数	児童数 対前年比
R 3年度 (2021) 実数	児童数	102	99	87	98	82	79	29	576	
	学級数	4	4	3	3	3	3	5	25	
R 4年度 (2022)	児童数	82	102	100	86	96	81	31	578	2
	学級数	3	4	3	3	3	3	5	24	
R 5年度 (2023)	児童数	90	82	102	100	86	96	31	587	9
	学級数	3	3	4	3	3	3	5	24	
R 6年度 (2024)	児童数	99	90	82	102	100	86	31	590	3
	学級数	4	3	3	4	3	3	5	25	
R 7年度 (2025)	児童数	113	99	90	82	102	100	31	617	27
	学級数	4	4	3	3	4	3	5	26	
R 8年度 (2026)	児童数	81	113	99	90	82	102	31	598	▲19
	学級数	3	4	3	3	3	4	5	25	

◇ 表右端の「児童数対前年比」は、令和7年度27名の大幅増の見込み。

令和8年度は19名減と推計されるが、「全生徒数」は、令和3年度「576名」から令和8年度「598名」まで、5年間で22名増と推計されることから、通学区域の弾力的運用制度を継続する必要がある。

(2) 富田東小学校

- 「R 3」は令和3年5月1日現在、「R 4」は令和4年1月31日現在の推計値
- R 5以降の1年生は令和3年5月1日現在の推計値
- R 4以降の特別支援は全て令和4年1月31日現在の推計値
- は、少人数指導（12ページ参照）
- 学級数は県基準による（1・2年生は30人学級、3年生以上は33人学級）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	全児童数	児童数 対前年比
R 3年度 (2021) 実数	児童数	169	150	149	164	140	160	43	975	
	学級数	6	5	5	5	5	5	6	37	
R 4年度 (2022)	児童数	151	167	148	147	161	138	47	959	▲16
	学級数	6	6	5	5	5	5	7	39	
R 5年度 (2023)	児童数	190	151	167	148	147	161	47	1,011	52
	学級数	7	6	6	5	5	5	7	41	
R 6年度 (2024)	児童数	155	190	151	167	148	147	47	1,005	▲6
	学級数	6	7	5	6	5	5	7	41	
R 7年度 (2025)	児童数	174	155	190	151	167	148	47	1,032	27
	学級数	6	6	6	5	6	5	7	41	
R 8年度 (2026)	児童数	138	174	155	190	151	167	47	1,022	▲10
	学級数	5	6	5	6	5	6	7	40	

- ◇ 表右端の「児童数対前年比」は、令和5年度52名、令和7年度27名の大幅増の見込み。
「全児童数」は、令和5年度以降1,000名超となり、
「学級数」も40超となることから、通学区域の弾力的運用制度を継続する必要がある。

(3) 富田中学校

- 「R 3」は令和3年5月1日現在、「R 4」は令和4年1月31日現在の推計値
- R 5以降の1年生は、令和3年5月1日現在の小学校推計表児童数から算出
(富田小+富田東小)
- R 4以降の特別支援は全て令和4年1月31日現在の推計値
- は、少人数指導(12ページ参照)
- 学級数は県基準による(1年生は30人学級、2年生以上は33人学級)

		1年生	2年生	3年生	特別支援	全生徒数	生徒数 対前年比
R 3年度 (2021) 実数	生徒数	246	220	221	14	701	
	学級数	8	7	7	3	25	
R 4年度 (2022)	生徒数	236	245	218	19	718	17
	学級数	7	8	7	3	25	
R 5年度 (2023)	生徒数	221	236	245	19	721	3
	学級数	8	8	8	3	27	
R 6年度 (2024)	生徒数	253	221	236	19	729	8
	学級数	9	7	8	3	27	
R 7年度 (2025)	生徒数	227	253	221	19	720	▲9
	学級数	8	8	7	3	26	
R 8年度 (2026)	生徒数	234	227	253	19	733	13
	学級数	8	7	8	3	26	

- ◇ 「全生徒数」は、令和3年度「701名」から令和8年度「733名」まで、**5年間で32名増**と推計される。
学級数を維持するためには、少人数指導(12ページ参照)の実施を検討しなければならないため、富田東小学校を対象とした通学区域の弾力的運用制度を継続する必要がある。

3 今後の主なスケジュール（2022/2/18現在）

弾力的運用制度		
時 期	会 議 等	内 容 等
令和4年10月初め	令和5年度 小学1年生 入学通知書発送・募集開始	募集人数の周知（広報 こおりやま10月号 等）
令和4年10月	西田学園（前期課程） 学校見学会開催	適宜実施（学校におい て計画）
令和4年10月	行健第二小及び富田東小に て制度説明	新入学児童保護者に対 し制度の説明を実施
令和4年10月	令和5年度 中学校の就学校の確認	制度を利用した小学校 6年生に対し、就学す る中学校を確認する
令和4月11月初め	募集締切・抽選・就学者の 決定	
令和5年1月	新中学1年生入学通知書発 送・西田学園（後期課程） 募集開始 西田学園学校見学会	西田学園（後期課程） 募集人数の周知（広報 こおりやま1月号等）
令和5年2月	後期課程募集締切・抽選・ 就学者の決定	
令和5年4月	希望小中学校に就学	

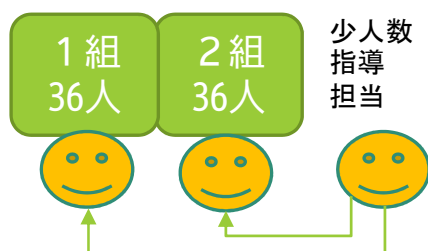
学校教育審議会・特別委員会

時 期	会 議 等	内 容 等
令和４年７月	学校教育審議会 ・特別委員会 合同会議	・弾力的運用のフォローアップ
令和４年度 下期	学校教育審議会 ・特別委員会 合同会議	・弾力的運用の現況

※ 参照

● 少人数指導と少人数学級（例：小4に72人が在籍＝教員3人配置）

【少人数指導】



- ・1クラス当たりの児童生徒数は多い
- ・専属で指導担当の教員がいる

【少人数学級】



- ・1クラス当たりの児童生徒数は少ない
- ・専属の指導担当教員はいない

- ◇ 市町村教育委員会が、校長の意見を聴取しながら各学校の実態に応じ、少人数学級又は少人数指導を選択し、県教育委員会が指定する。
少人数指導担当は学級担任と協力して活動、1学級に2人先生が入ったり、学年、学級を小グループに分けたりして指導。